

【 解説 】

平文の文字（アルファベット）に、それぞれ対応する暗号を「アルファベット」と「ドレミ…」に分けて並べると、下の表のようになる（黒太字）。

行ごと・列ごとに、特に近接しているもの同士を比較すると、暗号のアルファベット部分は青文字のように予想できる。

「ドレミ…」部分は、(ア) は同じ音、(イ) は隣同士の音、(ウ) は間に一つおいた音、(エ) は考慮する必要がない。

平文	<b>a</b>	<b>b</b>	c	d	<b>e</b>	<b>f</b>	g
	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>E</b>	<b>F</b>	<b>G</b>	<b>A</b>	<b>B</b>
暗号	ファファ	ソソ			ララ	ララ	
					シシ		

← (ア)

平文	<b>h</b>	i	j	k	<b>l</b>	m	n
	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>E</b>	<b>F</b>	<b>G</b>	<b>A</b>	<b>B</b>
暗号	ミファ				ドレ		

← (イ)

平文	<b>o</b>	<b>p</b>	q	r	s	<b>t</b>	<b>u</b>
	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>E</b>	<b>F</b>	<b>G</b>	<b>A</b>	<b>B</b>
暗号	ドミ	ラド		ミソ		ファラ	レファ
	レファ						

← (ウ)

平文	v	w	x	y	z
	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>E</b>	<b>F</b>	<b>G</b>
暗号					

← (エ)

以上から、暗号「A ラド D ドレ A ミファ D ソシ C ララ B ドレ D ミファ」は

「A (ウ) D (イ) A (イ) D (ウ) C (ア) B (イ) D (イ)」となるので、「timpani」である。

ただし、暗号のアルファベット部分と選択肢を比べるだけでも正解は得られる。

実際の試験では、一文字目 A→(f, m, t)のどれか、2文字目 D→(b, i, p, w)のどれかということで4番以外の選択肢を消去するのが速かったであろう。